

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農薬使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第7号 水稻

発行日 平成25年 9月26日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

県内全域で刈り取り作業が進んでいます。刈り遅れは品質低下の原因となりますので、早めに収穫作業を行いましょ。

倒伏した圃場では、作業速度をできるだけ遅くし、刈り分けにより品質確保に努める。日没が早まる時期なので、作業は計画的にすすめて、安全な農作業を心掛けましょ。

1 適期刈り取りの励行

刈り遅れは着色粒や胴割粒等の発生を増加させ品質低下につながります。刈り取りがまだの場合は早めに刈り取りましょ。

2 農作業安全

日没が早まる時期ですので、計画的に作業をすすめ、安全な農作業安全を心掛けましょ。

- ・圃場での移動、運搬の際の転倒事故や追突事故には十分注意する。
- ・コンバインにワラ等が詰まった場合には、必ずエンジンを止めてから作業する。
- ・夕方の事故が多いので、休息を十分にとり、焦らず、慎重な作業を心がける。
- ・反射材や低速車マークを取り付け、路上走行中の追突事故を防止する。

3 乾燥・調製の留意点 **仕上げ水分は 15.0%以下を徹底ましょ！**

(1) 胴割れ粒の発生防止

- ・1時間あたりの乾燥速度(水分低下)は0.8%以下とし、送風温度に十分に注意する。急激な乾燥や過乾燥は避ける。
- ・自然乾燥の場合、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げる。

(2) 籾すり時の肌ずれ、脱ぶの防止

- ・玄米水分 15.0%以下の適正水分で籾すりを行う(肌ずれ米の防止)。
- ・ロール間隔は、籾の厚さの約 $1/2$ (0.5~1.2mm) に調整する。脱ぶ率は85%を基準とする。

(3) ライスグレーダー粒選別

- ・出荷製品となる玄米は、LL (1.9mm) の篩い目を使用し、整粒歩合 80%以上に仕上げる。

農作物技術情報第8号は10月31日(木)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。
※ 発行時点での最新情報に基づき作成しております。
※ 発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

**9月15日~11月15日は秋の農作業安全月間
慣れと油断が事故のもと いつもの作業もまず確認！**

中央農業改良普及センター県域普及グループは、現地農業改良普及センターを通じて先進農業者に対する支援活動を展開しています。